

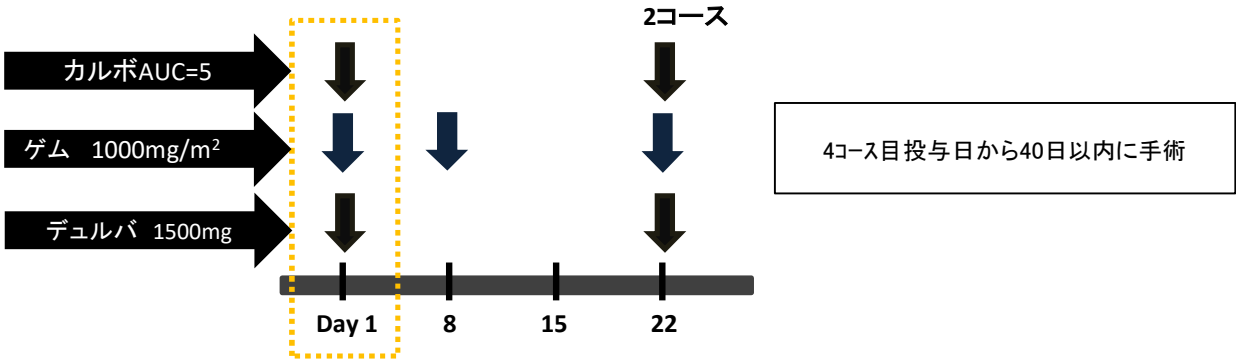
カルボ5+ ゲム+デュルバ+FPD 療法(術前4C)

PVCフリー
フィルターあり
催吐リスク: 中等度

細胞障害性分類
カルボ: 炎症性
ゲムシタピン: 炎症性
デュルバ: 非壊死起因性

レジメン概要

投与は3週毎を1コースとし、4コース行う。
4コース目 day1 投与終了後、40日以内に手術を実施する。
術後は10週以内に術後補助療法(デュルバルマブ療法)を開始する。



処方

Day 1

- Rp 01 点滴静注**
生食 50mL1V
* ルートキープ 残廃棄可
* フィルター付きルートを使用 10mL/h
- Rp 02 点滴静注**
生食 100mL1V
イミフィンジ 1500mg
130mL/h
- Rp 03 点滴静注**
生食 50mL1V
500mL/h
- Rp 04 点滴静注**
パロノセトロンバッグ0.75mg ..1袋
デキサート注3.3mg
アロカリス注235mg
120mL/h

- Rp 05 点滴静注**
生食 100mL1V
ゲムシタピン 1000mg/m²
200mL/h
- Rp 06 点滴静注**
5% ブドウ糖 250mL1袋
カルボプラチン AUC=5
250mL/h
- Rp 07 点滴静注**
生食 50mL1V
* 流し ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去

(Day 2~4) 必要に応じて

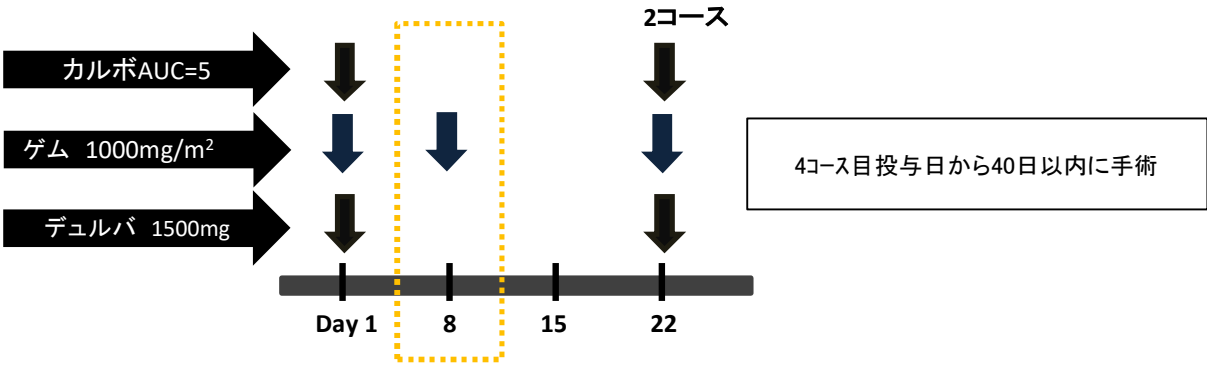
- Rp 01 内服**
デカドロン錠4mg

カルボ`5 + ゲム+ デュルバ` + FPD療法（術前4C）

レジメン概要

投与は3週毎を1コースとし、4コース行う。
4コース目day1投与終了後、40日以内に手術を実施する。
術後は10週以内に術後補助療法（デュルバルマブ療法）を開始する。

PVCフリー
フィルターなし
催吐リスク：中等度
細胞障害性分類
カルボ：炎症性
ゲムシタビン：炎症性
デュルバ：非壊死起因性



処方

Day 8

- Rp 01 点滴静注

生食 50mL1V

* ルートキープ 残廃棄可 10mL/h
- Rp 02 点滴静注

グラニセトロンバック1袋

デキサート注3.3mg

750mL/h
- Rp 03 点滴静注

生食 100mL1V

ゲムシタビン 1000mg/m²

200mL/h
- Rp 04 点滴静注

生食 50mL1V

* 流し ポンプ外してクレンメ全開

終了後、抜去